

第6学年*組 社会科学習指導案

指導者 ***

1 単元名 「世界に歩み出した日本」

2 単元目標

日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などに関わる人物の業績が、我が国の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を考えることができる。

3 指導にあたって

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第6学年の内容（1）のク「大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること」に基づいて設定されたものである。前単元において、明治政府が廃藩置県、四民平等などの諸改革を行い、欧米文化を取り入れつつ近代国家の組織や形態を整えていったこと、自由民権運動によって国民の政治への参加の道も開かれ国会が開設されるまでになったことなどを学習してきた。しかし、日本と外国との関係についてはあまり深く捉えさせる内容ではなかった。

本単元は、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展、産業の発展に関わる様々な人物の業績を調べる活動を通して、日本と外国との関係を踏まえながら、日本がどのようにして国力を充実させ国際的地位を向上させていったのかを捉えさせるものである。

(2) 児童の実態（実態調査 平成26年10月15日、第6学年*組*人実施）

本学級において、「参勤交代とはどんな政策か。また、この政策によって、幕府政治や社会にどのような影響を与えたのか。」と問う実態調査を行った。その結果、政策の内容そのものを理解していた児童は*人であった。しかし、幕府、大名、町人など複数の立場から政治や社会への影響について記述できた児童は*人であった。このことは、これまでの授業実践において、歴史的事象について様々な立場からの思いや願いを考えさせる指導が十分ではなく、その歴史的事象がどのような意味をもつものなのか、より広い視野から考えさせるまでに至っていなかったためである。このことから、歴史的事象に関する様々な立場からの思いや願いを見いだし、それらを踏まえて、先人の業績が我が国の国家・社会の発展に果たした役割について考えを深め、捉える学習活動が重要であると考えた。

(3) 指導について

本単元では、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展、産業の発展に関わる人物の業績を取り上げ、それらに関わる様々な立場からの思いや願いを見いだしたことを踏まえて、日本の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解させたい。まず、歴史的事象について調べたことを基に、先人を含めた関係する様々な立場からの思いや願いを見いだす。次に、友達との意見交換によって、自分で見いだした様々な立場からの思いや願いについての考えを深める。様々な立場からの思いや願いを踏まえて、歴史的事象が国家・社会の発展に及ぼした影響を考える。単元の終末で、それぞれの歴史的事象の影響について、日本の国力を充実させ、国際的地位の向上にどう役立ったかという観点で比べ、功績について位置付けをする。位置付けた理由について、友達と意見交換し、国家・社会の発展に及ぼした影響についての考えを深め、歴史的事象が国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を捉える。これらの学習活動を通して、歴史的事象の意味をより広い視野から考える力を育てていきたい。

4 単元の指導

(1) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
日清・日露戦争、条約改正、科学の発展、産業の発展や、それらに関わる人物の働きなどに関心をもち、意欲的に調べている。	日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などに関わる人物の業績が、日本の国力の充実と国際的地位の向上の果たした役割を、様々な立場からの思いや願いを踏まえて考え、表現している。	日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などに関わる人物の働きについて、必要な情報をを集め、読み取っている。	日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などに関わる人物の働きによって、日本の国力が充実し国際的地位が向上したことを探している。

(2) 単元の計画 (8時間)

時	学習活動・内容	指導上の留意点と評価 (◎) 歴史的事象の意味をより広く理解しら考る力を育てるための学習活動(☆)
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題を確認する。 单元全体の学習問題をみんなで考え、年表をもとに予想を立てる。 ○ ノルマントン号事件を描いた風刺画を見て話し合う。 日本はどのようにして、国をつけて、世界的にも地位が高まっていたのだろうか。 ○ 学習問題解決のための手がかりを年表中からつかむ。 ○ 日本の国力の充実と国際的地位を高めるために役立った出来事や人物の活躍は何か、意見交換する。 	<p>・ノルマントン号事件の判決の様子を寸劇で見せることで当時の日本の国際的な地位が低かった事実を捉えることができるようとする。</p> <p>・年表中から人物の活躍と出来事の双方から予想を立てられるようとする。</p> <p>・意見交換の目的は、どれが重要だったかを明らかにすることではなく、互いの考えを主張し合うことにより友達の考えに触れ、調べ学習の意欲を高めたい。</p> <p>◎問題解決につながる歴史的事象を捉えることができる。 (関心・意欲・態度) <ノート、意見交換の様子></p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題を確認する。 野口英世の活やくは、世界でどのような役割を果たし日本の地位向上にどうつながったのだろうか。 ○ 調べたことを基に、野口英世の活躍に関する様々な立場からの思いや願いを業績カードに記述する。 ○ 様々な立場からの思いや願いについて意見交換する。 ○ 日本人科学者の活躍は、どんな影響を及ぼしたのか、業績カードに記述する。 	<p>・野口英世以外の科学者の業績について分かる資料を提示し、多くの科学者が活躍していたことを捉えることができるようとする。</p> <p>☆様々な立場からの思いや願いを踏まえて、科学者の活躍が国家・社会に及ぼした影響について記述する。</p> <p>◎日本人科学者の活躍に対する様々な立場からの思いや願いを踏まえて、国際的地位の向上に果たした役割について考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <業績カード></p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「漁夫の利」の風刺画を見て、当時の日本と外国の関係を捉える。 日清・日露戦争は、どのように始まり、どのような結果をもたらしたのだろうか。 ○ 二つの戦争がどのように行われたのか、どんな人物の活躍があったのか調べる。 ○ 「漁夫の利」の風刺画を見て、当時の日本と外国の関係を振り返る。 日清戦争を通して、国内の状況や諸外国との関係はどう変わったのだろう。 ○ 調べたことを基に、日清戦争に関する様々な立場からの思いや願いを業績カードに記述する。 ○ 様々な立場からの思いや願いについて意見交換する。 ○ 日清戦争の勝利は、どんな影響を国家・社会に及ぼしたのか、業績カードに記述する。 ○ 「漁夫の利」の風刺画を見て、当時の日本と外国の関係を振り返る。 日露戦争を通して、国内の状況や諸外国との関係はどう変わったのだろう。 ○ 調べたことを基に、日露戦争に関する様々な立場からの思いや願いを業績カードに記述する。 ○ 様々な立場からの思いや願いについて意見交換する。 ○ 日露戦争の結果は、どんな影響を国家・社会に及ぼしたのか、業績カードに記述する。 	<p>・「漁夫の利」の風刺画に描かれている人物や魚が、どの国を表しているか見当をつけることで、二つの戦争が起きた状況を大まかに捉えることができるようとする。</p> <p>◎二つの戦争や関係する人物の業績について、年表や資料を活用して情報を集めて読み取ることができる。</p> <p>(観察・資料活用の技能) <学習プリント></p> <p>・それぞれの思いを書き込める吹き出しを用意し、児童から出た意見を書いていくことで、東アジアの状況を捉えることができるようとする。</p> <p>☆様々な立場からの思いや願いを踏まえて、日清戦争が及ぼした影響について記述する。</p> <p>◎様々な立場から思いや願いを踏まえて、日清戦争の勝利や陸奥宗光の業績が日本の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <業績カード></p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「漁夫の利」の風刺画を見て、当時の日本と外国の関係を振り返る。 日露戦争を通して、国内の状況や諸外国との関係はどう変わったのだろう。 ○ 調べたことを基に、日露戦争に関する様々な立場からの思いや願いを業績カードに記述する。 ○ 様々な立場からの思いや願いについて意見交換する。 ○ 日露戦争の結果は、どんな影響を国家・社会に及ぼしたのか、業績カードに記述する。 	<p>・「植民地」の用語説明をし、植民地分割の世界地図を提示し、世界の状況を確かめることで、日露戦争直前のアジアの状況を捉えることができるようとする。</p> <p>☆様々な立場からの思いや願いを踏まえて、日露戦争が、国家・社会に及ぼした影響について記述する。</p> <p>◎日露戦争に関する様々な立場からの思いや願いを踏まえて、東郷平八郎や陸奥宗光の業績が、日本の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <業績カード></p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「漁夫の利」の風刺画を見て、当時の日本と外国の関係を振り返る。 江戸時代の終わりに結ばれた不平等条約が改正されたことを通じて、国内の状況や諸外国との関係はどう変わったのだろうか。 ○ 調べたことを基に、条約の改正に関する様々な立場からの思いや願いを業績カードに記述する。 ○ 様々な立場からの思いや願いについて意見交換する。 ○ 条約の改正は、どんな影響を国家・社会に及ぼしたのか、業績カードに記述する。 	<p>・修好通商条約の内容を確認し、「関税」の意味を説明することで、どのようなことが不平等だったのかをしっかりと捉えられるようとする。</p> <p>☆様々な立場からの思いや願いを踏まえて、条約の改正が国家・社会に及ぼした影響について記述する。</p> <p>◎条約の改正に関する様々な立場からの思いや願いを踏まえて、陸奥宗光や小村寿太郎の業績が、日本の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現) <業績カード></p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本生糸の輸出量及び国内の鋼材の生産量に関する変化のグラフから分かることを発表する。 このころの産業の発展は、国内の状況や諸外国との関係にどのような影響をあえたのだろうか。 ○ 調べたことを基に、産業の発展に関する様々な立場からの思いや願いを業績カードに記述する。 ○ 様々な立場からの思いや願いについて意見交換する。 ○ 日本の産業の発展は、どんな影響を国家・社会に及ぼしたのか、業績カードに記述する。 	<p>・グラフを提示する際には、変化の予想を話し合ってから移り変わりを見せるようにし、学習への意欲付けとする。</p> <p>☆様々な立場からの思いや願いを踏まえて、日本の産業の発展が、国家・社会に及ぼした影響について記述する。</p> <p>◎産業の発展に対する様々な立場からの思いや願いを踏まえて、様々な社会問題が産業の発展の反動として起きたことを理解することができる。</p> <p>(知識・理解) <業績カード></p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題を確認する。 日本はどのようにして、国をつけて、世界的にも地位が高まっていたのだろうか。 ○ それまで作成してきた業績カードを自分の考えで比べるシートに位置付ける。 ○ どうしてそのような位置にカードを置いたのか、グループで質問し合いながら意見交換する。 ○ 単元を通した学習問題に対するまとめを記述する。 	<p>○これまでの学習について年表や資料を提示して、全員で振り返ができるようとする。</p> <p>☆様々な歴史的事象が、国家・社会に及ぼした影響について考えを深めたことを記述する。</p> <p>◎様々な先人たちの業績が、日本の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割について理解することができる</p> <p>(知識・理解) <メモ・意見交換の様子></p>
8		

5 本時の学習

(1) 目標

日露戦争にかかる様々な立場からの思いや願いを見いだし、それらを踏まえて、日露戦争の結果がその後に日本にどのような影響を与えたのかを考えることができる。

(2) 準備・資料

学習プリント、業績カード、韓国をめぐる国々の風刺画、日本海海戦のイラスト、色分けされた植民地分割の世界地図

日清戦争後のアジア色分け地図、人物写真(東郷平八郎・小村寿太郎)

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点と評価 (◎) 歴史的事象の意味をより広い視野から考える力を育むための手立て(☆)
1 朝鮮、日本、清(中国)、ロシアの関係を描いた風刺画を見て、当時の日本と外国の関係を振り返る。 2 中央新聞1903年10月の「火中の栗」を見て、日露戦争直前の様子を話し合う。 3 本時の課題を確認する。 日露戦争を通して、国内の状況や諸外国との関係はどう変わったのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争後、清との講和条約で手に入れた遼東半島の位置を確認し、ロシアの圧力により清に返したことを説明する。 ・世界地図で各国の位置や国土の広さを確認する。 ・「植民地」の用語説明をして、色分けされた植民地分割の世界地図を提示し、世界の状況を確かめながら、日露戦争直前のアジアの状況を捉えられるようにする。 ・イギリスの思いを風刺画「火中の栗」を基に話し合い、日本にロシアと戦わせ、様子を見る意図があったことを捉えるようする。
4 前時で調べたことを基にして、戦争の結果と講和条約の内容を中心に振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・結果 ・関係する人物 ・講和条約の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の様々な立場からの思いや願いを見いだしやすくするために、調べた結果について投げかけておく。 「賠償金がもらえなかつたんだ。どう思う？」 「家族に戦争の犠牲になった人がいたら、どう思う？」 「戦いの状況を見ながらイギリスは何を考えていたのかな」
5 業績カードに、日露戦争に関する様々な立場からの思いや願いを資料などを基に記述する。 <ul style="list-style-type: none"> ・東郷平八郎からの思いや願い ・小村寿太郎からの思い ・イギリスの立場からの思い ・ロシアの立場からの思い ・日本国民の立場からの思い ・アジアの国々の立場からの思い 	<ul style="list-style-type: none"> ・東郷平八郎の思いを考える際には、この戦いの勝利がどのような影響を与えるのかを考えさせるようにする。 ・イギリスの立場からの思いを教師側で伝えることによって、様々な立場からの思いや願いを見いだせないでいる児童への手立てとする。 ・児童の進捗状況を見ながら、資料を見る観点について助言する。
6 各自で見いだした様々な立場からの思いや願いについて、ペアで意見交換をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに気付いた立場が同じであったり、見いだした思いや願いが似ていて、早く終わってしまったペアには、違った思いをもつ他の立場がないかと一緒に考えるように促し、空欄の枠に記述できるようにする。
7 日露戦争が日本の国家・社会の発展に及ぼした影響について、どのようなところがプラスになったのか、マイナス面はなかったのか、業績カードに記述する。	<p>☆日露戦争が及ぼした影響について、様々な立場からの思いや願いを踏まえて、プラス面マイナス面を考える。</p> <p>◎日露戦争、東郷平八郎や小村寿太郎の業績に対する様々な立場からの思いや願いを踏まえて、日本の国力の充実と国際的地位の向上に果たした役割を考えることができる。</p>
8 本時の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをカードに記入する。 	(思考・判断・表現) <業績カード>